

○与謝野町地域公共交通会議設置要綱

平成19年11月15日

告示第94号

(設置)

第1条 道路運送法(昭和26年法律第183号)の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等による旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議し、当該輸送に係る運賃等について合意形成を図るため、与謝野町地域公共交通会議(以下「交通会議」という。)を設置する。

(協議事項)

第2条 交通会議は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 地域の実情に応じた適切な、バス等による乗合旅客輸送の態様及び運賃、料金等に関する事項
- (2) 市町村運営有償輸送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (3) 福祉有償輸送に関する事項
- (4) 交通会議の運営方法その他交通会議が必要と認める事項

(組織)

第3条 交通会議は、与謝野町長(以下「町長」という。)のほか委員25人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 一般乗合旅客自動車運送事業者及びその他の一般旅客自動車運送事業者
- (2) 地域住民の代表者及び利用者の代表者
- (3) 国土交通省近畿運輸局京都運輸支局長又はその指名する職員
- (4) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
- (5) 京都府宮津警察署
- (6) 京都府
- (7) 与謝野町
- (8) その他町長が必要と認める者

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 交通会議に会長及び副会長各1人を置く。

- 2 会長は、町長をもって充てることとし、会務を総括する。
- 3 副会長は、委員の中から会長が指名することとし、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 交通会議の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 交通会議は、委任状（別記様式）による者を含め、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。
- 5 交通会議は、原則公開とする。

(協議結果の取扱い)

第6条 交通会議において協議が調った事項について、関係者はその結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(庶務)

第7条 交通会議の庶務は、与謝野町企画財政課において処理する。

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、交通会議の運営に関して必要な事項は、会長が交通会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、平成19年11月15日から施行する。
(与謝野町福祉有償運送等運営協議会設置要綱の廃止)
- 2 与謝野町福祉有償運送等運営協議会設置要綱(平成18年与謝野町告示第157号)は、廃止する。

(任期の特例)

- 3 この告示の施行後最初に委嘱し、又は任命される委員の任期は、第3条第3項の規定にかかわらず、平成21年3月31日までとする。

これまでの検討経過

(平成 30 年 10 月 23 日 第 25 回与謝野町地域公共交通会議)

人口減少社会において、住民の生活に必要なバス等の公共交通のあり方について、本交通会議で検討を進めます。

1. 検討の範囲

人口減少時代を見据えながら、地域住民の移動手段として持続可能な公共交通網への再編を主な検討範囲とする。なお、北近畿を営業エリアとする京都丹後鉄道、及び介護等福祉を支える輸送（福祉有償運送、福祉タクシー）については原則、範囲から除外する。

2. 見直しの方向性

(1) 地域間幹線系統（丹海バス路線）

- ①利用の多い高校生の通学の足をしっかり確保し、次に利用の多い高齢者の買い物・通院等に配慮
- ②生産性を向上し持続可能な路線に（国庫補助制度を活用）

(2) 地域内交通の見直しについて

- ①本町にとって最適な地域内交通の検討を進めることとするが、導入準備も含めて一定の期間が必要。
- ②その間は「コミュニティバスひまわり」の運行継続を前提とし、当該バスの生産性向上を図る。

3. 与謝野町地域公共交通会議の開催状況

日程	協 議 概 要
第 26 回 (H30.12.25)	与謝線・福知山線路線、病院線を含む地域公共交通の再編を検討
第 27 回 (H31.2.21)	与謝線・福知山線路線の再編案について議論 コミュニティバスひまわりについて平成 31 年 4 月 1 日より運行曜日を変更することを承認
第 28 回 (R1.5.20)	与謝線・福知山線について令和元年 10 月 1 日より再編を行うことで承認
第 29 回 (R2.2.18)	病院線の再編、コミュニティバスひまわりの再編について、方向性を確認
第 30 回 (R2.6.29)	病院線（峰山四辻線）、コミュニティバスひまわりの再編（岩屋線の新設、奥滝線、加悦奥・石川線の見直し、運行曜日の変更）について承認

(参考)

■丹海バス路線再編後（令和2年10月1日～）

系統名	起点	経由	終点
伊根線	上宮津公民館	天橋立駅、与謝の海病院	伊根郵便局前
蒲入線	上宮津	天橋立駅、与謝の海病院	蒲入
経ヶ岬線	上宮津	天橋立駅、与謝の海病院	経ヶ岬
与謝線	天橋立ケーブル下	与謝の海病院、与謝野駅	与謝
峰山線	峰山駅	マイン前、京丹後大宮駅	野田川丹海前
峰山四辻線	峰山駅	マイン前、京丹後大宮駅	四辻
福知山線	与謝	福知山駅	共栄高校前

■コミュニティバスひまわり再編後（令和2年10月1日～）

路線名	起点	経由	終点
奥滝線	鹿ノ熊	山河公民館、ウイル	野田川庁舎
岩屋線	岩屋上	野田川庁舎	ウイル
加悦奥・石川線	加悦奥十番組	香河、川上、石川、丹海本社前、 野田川庁舎、ウイル	加悦庁舎